

消防だより

火の用心

Tokamachi Fire Department

No.62



平成20年12月20日



年末年始も火の用心！災害のない新しい年へ！



今年みなさんの火災予防が功を奏し、火災の少ない年でした。
引き続き火の用心をお願いします。

写真上) なかよし保育園児による火災予防の呼びかけ 下段左右) 中条保育園児の防火チラシ配布

救急現場へ医師などの派遣が可能に！

■ 県立十日町病院と十日町地域広域事務組合で
救急業務に関する協定に調印

平成20年10月27日、十日町地域広域事務組合と県立十日町病院との間で、救急現場における救急業務に関する協定調印式が行われました。

この協定は救急現場において、医師による医療処置が必要ときに、十日町病院の医師などの派遣を要請するもので、複雑多様化する災害などに消防と医療が連携し、救命率の向上を目的とするものです。



十日町病院災害医療派遣チームDMATと消防本部の合同訓練
(十日町市総合防災訓練)

DMAT(ディーマツト)とは

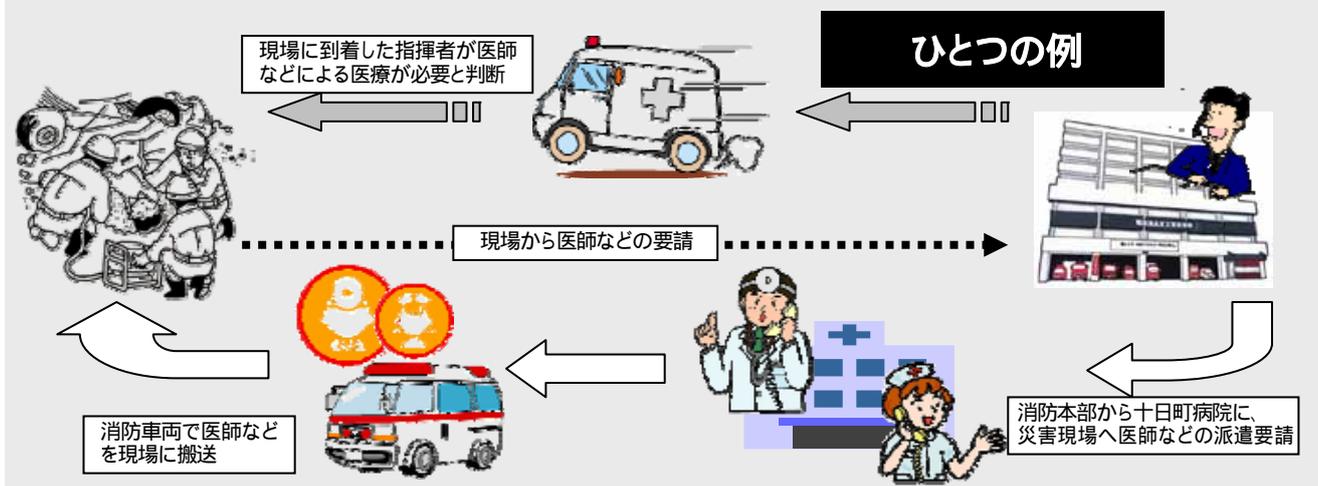
災害現場で救命措置等に対応できる機動性を備え、専門的な訓練を受けた医療チーム(医師、看護師、業務調整員)のことで、大規模災害発生時において、迅速に被災地に入り、災害現場における医療活動(がれきの下の医療、被災地の病院支援等)を行います。

クラッシュ症候群とは

交通事故や地震災害などで「身体の一部が長時間挟まれるなどして、圧迫され、その解放後に起こる様々な症候」で、救出後に急性腎不全や心不全を起こす全身障害をいいます。阪神大震災の際に注目されたもので、救出から治療を始めるまでの時間が、患者の明暗を大きく左右するとされています。

例えば、災害現場などで「クラッシュ症候群」が疑われた場合や、傷病者の状態によって、搬送するか否かの判断が困難な場合、また、現場の指揮者が医師などによる処置を必要とした場合に派遣を要請します。要請を受諾した十日町病院は、災害現場に医師などを向かわせ、早期に高度な救命処置を行います。このことにより、さらなる救命率の向上が期待されます。

ひとつの例



命にかかわる
お願いです！
生命の危険がある傷病者が
救急車を待っています。

救急車の出動件数は年々増えています。このままでは緊急性があり、本当に救急車を必要としている人への適切な救命処置が遅れ、救える命が救えなくなるおそれがあります。

限りある救急車が、緊急の傷病者のために出動できるよう「119番」通報する前に、救急車を必要とするほどの緊急の事態かどうか考えてみてください。

次のような救急車の利用は
ご遠慮ください

緊急性のない状態で呼んでいませんか？
救急車で行けば、早く診てもらえると思いませんか？
タクシーなどの代わりに利用していませんか？

救急車の正しい利用について
ぜひ一度考えてください



火災予防のお願い

寒くなり、灯油の使用や暖房機器などの取扱いが増えます。取扱いには十分気をつけてください。右の小言の中には色々な危険が潜んでいます。あなたの家で当てはまることはありませんか？



住宅用火災警報器

十日町地域広域事務組合火災予防条例では、平成23年6月1日からすべての住宅に設置することとなっています。寝室や階段などに設置することで、住宅火災による犠牲者を減らし、人命と財産を守ることを目的としています。

住宅火災から身を守るためにも、正しい場所に、正しい方法で火災報知器を設置しましょう。



灯油などの流出防止

例年、ホームタンクからの給油の際に誤って灯油をこぼしてしまうケースが後を絶ちません。給油の小出し中は、その場を離れることなく、また、バルブ・キャップの閉め忘れには十分気を付けましょう。

「小出し中 じっと我慢の2分間」

合言葉として覚えてください。

事故防止のお願い



雪による事故にも注意が必要です。凍結路面での転倒、屋根の雪下ろし中の転落事故などが多く見られます。事故にあった時はまず助けを呼び、119番通報をしましょう。

ポイントとして、冬場は寒さから体温がどんどん奪われていくので、**保温**が大切です。「動かさない方がいい」とずっと雪の上にいるのは危険です。何かの上に移動するだけでも寒さから逃れられますので、救急車が到着する前に安全な場所へ移動してください。

暖房器具などへの接触により熱傷を負ったり、高齢者の低温やけど、小さい子供の事故など、家庭内での事故も増えます。まわりに危険なものがないか、もう一度確認してみましょう。



年末・年始「火災0」を目指し、火の用心をお願いします。

冬は危険がいっぱい!

うちは住宅用火災警報器つけないの?

IHクッキングヒーターは絶対に安全?

ストーブの上つて、危ないけど洗濯物が乾くよね。

この消火器は古いけどきつと使える。

換気すると寒いっけ、窓開けんなや!

こたつで火傷しちやつてさあ〜

うちは揚げ物しねやんだ。買ってくらんだ。

こないだ灯油の給油する時、こぼしたべ?

「じっとガマンの2分間」だぞ!

雪が積もると、とたんに風呂場が臭くなって

目がシクシクするよにならんどお。

薪ストーブの煙突って掃除したん?(母)

面倒くせつけ、してねーて(父)

松代地域の児童が夜間防火広報に出動!

～秋の火災予防週間～

松代地域の小学生が秋の火災予防週間中に防火広報活動を実施しています。今年で4年目となるこの企画は、火災予防を住民に訴えたいとする消防団とのコラボレーションで実現。児童が自分で作った広報文を消防団車両のマイクで防火P.Rを行いました。

秋の澄んだ闇夜に、透き通るようなメッセージ。松代地域は先日、無火災500日を達成しました。記録は続くよ、どこまでも!



「安全な暮らしを守る 火の点検」

松代小学校4年 柳 歩夢さんの標語



平成20年度

秋の叙勲

Human

瑞宝単光章 受章
(危険業務従事者叙勲)
元津南町消防団長



大口 英雄さん
(津南町米原)

大口英雄さんは昭和35年、津南町消防団員を拝命。以来47年間、消防団活動に従事、団長職を4年間歴任し、平成19年に退団。永年にわたり消防団業務に従事した功労で叙勲に輝きました。

「47年間を今振り返ると、様々な出来事がありました。団員になったばかりの頃、近所で火災があり、そのときの恐ろしさは、いまだに忘れられません。また、3日間に及ぶ捜索や、一晩中、夜を徹しての捜索活動もありました。仕事は専業農家で、いざというときには仕事を投げ出し、出勤したので、家族にはかなり迷惑をかけたと思っています」さらに「今回私を受章できたのも、大勢の団員や家族の支えがあったからこそと思っています。これからは一町民として消防団を応援していきたい」と話していました。

大口さんは、夏は農業、冬は町の除雪作業にと、まだまだ現役！今後ますますの活躍をお祈りいたします。おめでとうございます。

瑞宝双光章 受章
(危険業務従事者叙勲)
元川西町消防団長



清水 善三さん
(十日町市高原田)

清水善三さんは昭和29年、千手町消防団(昭和31年に川西町消防団に名称変更)の消防団員を拝命。以来48年間、消防団活動に従事、団長職を10年間歴任し、平成15年に退団。48年の永きにわたり消防団業務に携わった功績で、この秋の叙勲を受章されました。

「あっという間の48年間でした。先輩や同僚、地域の皆様、そして家族の協力があつたからこそその受章だと思い、感謝の念に耐えませんが、また「すべての災害にそれぞれの思い出はありますが、団長職の時に、消防団の活性化事業の一環で、服装の整備を終えることができたのも、忘れることはできません。これからは社会環境の変化で消防団活動も様々な困難が予想されますが、団員の皆様には、自分の住むふるさとを、協力し合い、いつまでも大切に守って欲しいですね。」と喜びを語っていました。

清水さん、この度は誠におめでとうございました。

最近、この時期になるといつも思います。「あ、あ、あ、正月では、この間終わったばかりでね、つ、つ、つ、と、過ぎ去る時間は同じなのに、何がこんな思いにさせるのでしょうか。いろんな面で閉塞感を感じた一年でしたが、来年こそは明るく、穏やかな年になつてほしいですね。それは皆様、良いお年をお迎え下さい。」



平成20年

災害出動件数

H20.1.1 ~ 12.10 まで

火災	30件	(39)
烧死者	1人	(1)
救急	2,319件	(2,334)
救助	40件	(49)
		()は前年数